

NEWS ANNOUNCEMENT

FOR IMMEDIATE RELEASE

※2019年1月22日に発表されたプレスリリースの抄訳です

タワージャズとRanix、車載市場向け V2X および ETC システムで使用される RF トランシーバ開発でのパートナーシップを発表

韓国の車載市場でRanixはETCSモデムの90%以上のシェアを確立、今後は中国への進出も

イスラエル、ミグダル ハエメクおよび韓国、ソウル、2019年1月22日 – グローバルスペシャリティファウンドリリーダのタワージャズと車載通信 IoT セキュリティのトータルソリューションプロバイダである Ranix は、本日、タワージャズの高度な RF 製造プラットフォームをベースにした車載市場向けの V2X (Vehicle-to-Everything) と ETCS (Electronic Toll Collection System) モデム用 RF トランシーバの開発について発表しました。Ranix の RF トランシーバの設計は、ETCS および V2X モデム用に特別にカスタマイズされています。

V2X モデム用の RF トランシーバは、WAVE (Wireless Access in Vehicle Environments) システム向けに開発されており、世界的に増加している車載市場のニーズをターゲットにしています。Ranix は、韓国の自動車市場および大手製造業向けに V2X ソリューションを提供する韓国唯一の国内企業であり、その存在感を世界に広げることを目指しています。ETCS 用の RF トランシーバは、韓国と中国の市場標準に準拠するように設計されており、これら2つの市場で高性能かつ費用対効果の高いソリューションを提供します。

自動運転の需要が増加するにつれて、強化された RF 通信機能を備えた高度なソリューションを提供する V2X モデムに対するニーズはさらに高まっています。V2X 通信モジュールは、車両から影響を与える可能性のあるあらゆるモノへの情報の受け渡しを行う役割を担います。具体的には、V2I (vehicle-to-infrastructure), V2N (vehicle-to-network), V2V (vehicle-to-vehicle), V2P (vehicle-to-pedestrian), V2D (vehicle-to-device) や V2G (vehicle-to-grid) などの特定用途向け通信モジュールが搭載されています。これらのシステムは、交通安全、渋滞緩和、省エネルギーなど、今日進化し続ける自動車市場のさまざまな要件に対応しています。グローバル市場調査会社 Visiongain によると、自動車の V2X モジュールの市場は 2015 年から 2025 年の間に CAGR (年平均成長率) が 24% に達すると予測しています。

Ranix の CEO である SoungWook Choi 氏は、次のように述べています。「Ranix の RF トランシーバは、車載市場向けに当社が開発した ETCS および V2X ソリューションに高度な RF 性能が提供できるように設計されています。車載システムの RF 通信要件がより複雑になるにつれて、優れた性能を発揮するために最適化

された RF トランシーバが必要になります。当社は、優れた性能と最高精度モデルを併せ持つ、タワージャズの車載向け認証済 RF プラットフォームを選択しました。Ranix とタワージャズのこの提携はお互いの強みがうまく合致したものであり、戦略的パートナーとしてこれからも協力できることを楽しみにしています。」

タワージャズ韓国のプレジデント、韓国セールスバイスプレジデントの Michael Song は次のように述べています。「私たちは、車載市場向けの RF トランシーバモデムの設計において、Ranix と連携できることを非常に嬉しく思います。タワージャズの定評のある高精度な PDK モデリング、AEC-Q100 認証済みのプロセスと豊富な製造ノウハウは、Ranix に最適な開発と製造環境を提供します。」

タワージャズのプロセステクノロジーの詳細については、[こちら](#)をご覧くださいか、info@towerjazz.com までお問い合わせください。

Ranix 社について

RANIX Ltd.は絶え間なく変化する産業間の収束と統合の時代に直面して、最高のシステム半導体とソリューションを提供するために研究開発に絶えず挑戦している会社です。Ranix は、自律走行車とモノのインターネット (IoT) のコアテクノロジーの開発に取り組んでいます。これらは、国家の未来をリードするための国家のコア戦略プロジェクトです。国の職務を担う使命感をもちながら、最先端で競争力のある新しい半導体の開発に 15 年以上にわたり最善を尽くしています。韓国標準の自動車専用通信プロトコルである DSRC モデムチップは 2007 年に発表され、市場投入前の韓国の ETCS の約 90%に組み込まれています。ターゲットとする市場に新しい研究開発技術を広めるためには、システム半導体の開発の先陣をきる必要があります。リスクを克服し、最先端の新技术を開拓することは時に困難で苦勞を伴いますが、私たちは国家競争力を高め、国家技術の地位を高めるために使命感と情熱を持って真摯に努力しています。RANIX のすべてのメンバーは、常に韓国を代表するグローバル企業に成長するために最善を尽くします。

タワージャズについて

タワーセミコンダクター株式会社 (NASDAQ: TSEM, TASE:TSEM)は、その子会社とタワージャズというブランド名でグローバルに事業を展開するスペシャルティファンドリのリーダーです。タワージャズは、消費者、産業機械、車載用、医療用、航空宇宙・防衛などの成長市場で次世代の集積回路(IC)を生産しており、SiGe、BiCMOS、ミックスドシグナル/CMOS、RF CMOS、CMOS イメージセンサ、パワーマネージメント(BCD および 700V)、MEMS など、カスタマイズが可能なプロセスプラットフォームを幅広く提供しています。また迅速かつ正確なデザインサイクルを実現する世界クラスのデザインイネーブルメントを提供し、IDM やキャパシティ拡大を必要とするファブレス企業向けには Transfer Optimization and development Process Services(TOPS)を提供しています。複数のファブを使ってサービスを提供するために、タワージャズはイスラエルに 2 か所(150mm と 200mm)、米国に 2 か所(200mm)、日本に 3 か所(200mm と 300mm)の生産拠点を保有しています。詳細は www.towerjazz.com をご覧ください。

TowerJazz Company Contact: Shoko Saimiya | Shoko.saimiya@towerjazz.com

TowerJazz Investor Relations Contact: Noit Levi | +972-4-604-7066 | noit.levi@towerjazz.com